きた北海道ルート

○道北地域におけるサイクルツーリズムを推進し、国内外から道北地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化を目的とし、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイとが連携し、平成29年から活動を開始。令和元年には「きた北海道サイクルツーリズム連絡会議」を設置。

きた北海道サイクルツーリズム連絡会議

・情報発信や受け入れ態勢の整備等の検討を実施

・メンバー（振興局、沿線自治体、観光協会、サイクリング協会、宗谷SBW、天塩川SBW等）

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○路面表示（矢羽根）による安全対策

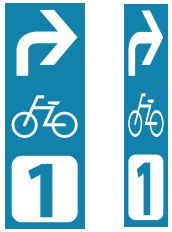
・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前、トンネルの入口手前等に設置。

○統一的なルート案内

・道路附属物（道路　標識、道路照明、固定式視線誘導等）の支柱に案内看板を貼付。

・支柱がない箇所や設置河川管理用通路上では路面表示により案内。

（矢羽根型路面表示設置箇所の走行状況）



（案内看板シール）

サイクルツーリズム推進のための取組

○受入環境の充実

・地元関係者の協働によるオリジナルのサイクルラック製作・設置等、受入環境の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

・メカトラブル発見時にサイクリスト応援カーによる自転車工具等の無料貸出体制を構築する。

・地域の民間企業や運輸会社等との連携により、輪行サービスや緊急サポート体制、荷物輸送サービスの構築を図る。また、レンタサイクル等の移動サポート体制の構築を図る。

○情報発信（ホームページ、サイクリングマップ、PR動画等）

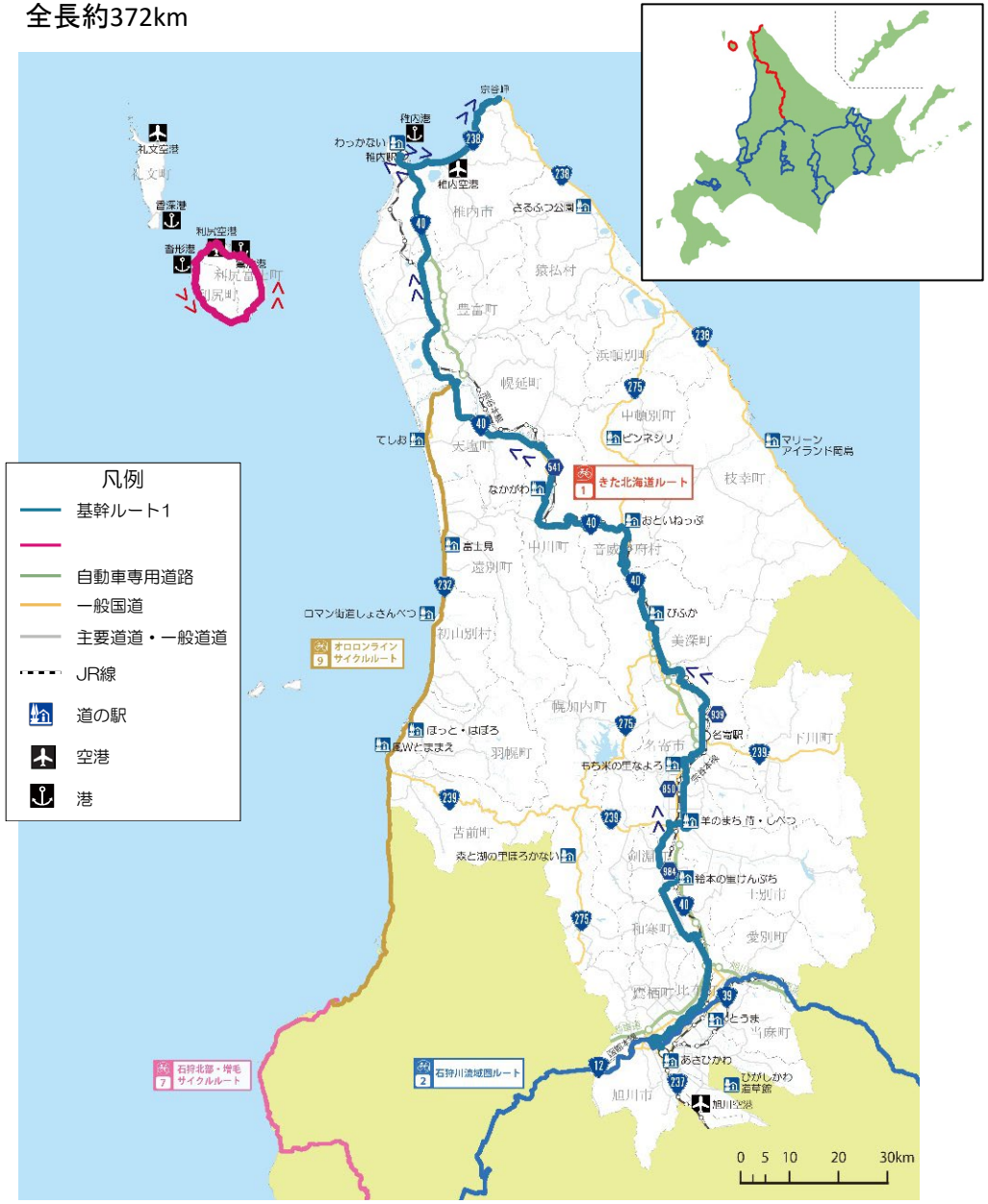
・ルートの魅力周知のため、民間企業や自治体と連携しサイクリングイベントの実施を進める。

・サイクリングマップをルートの起終点や立寄施設など、「道の駅」や空港等の拠点施設に配布し情報発信を実施。

地元関係者の協働による
サイクルラック製作・設置

サイクリスト応援カーによる
工具等の無料貸出

移動サポート（サイクルバスによる輪行サービス）

サイクルイベント
の開催

全長約372km